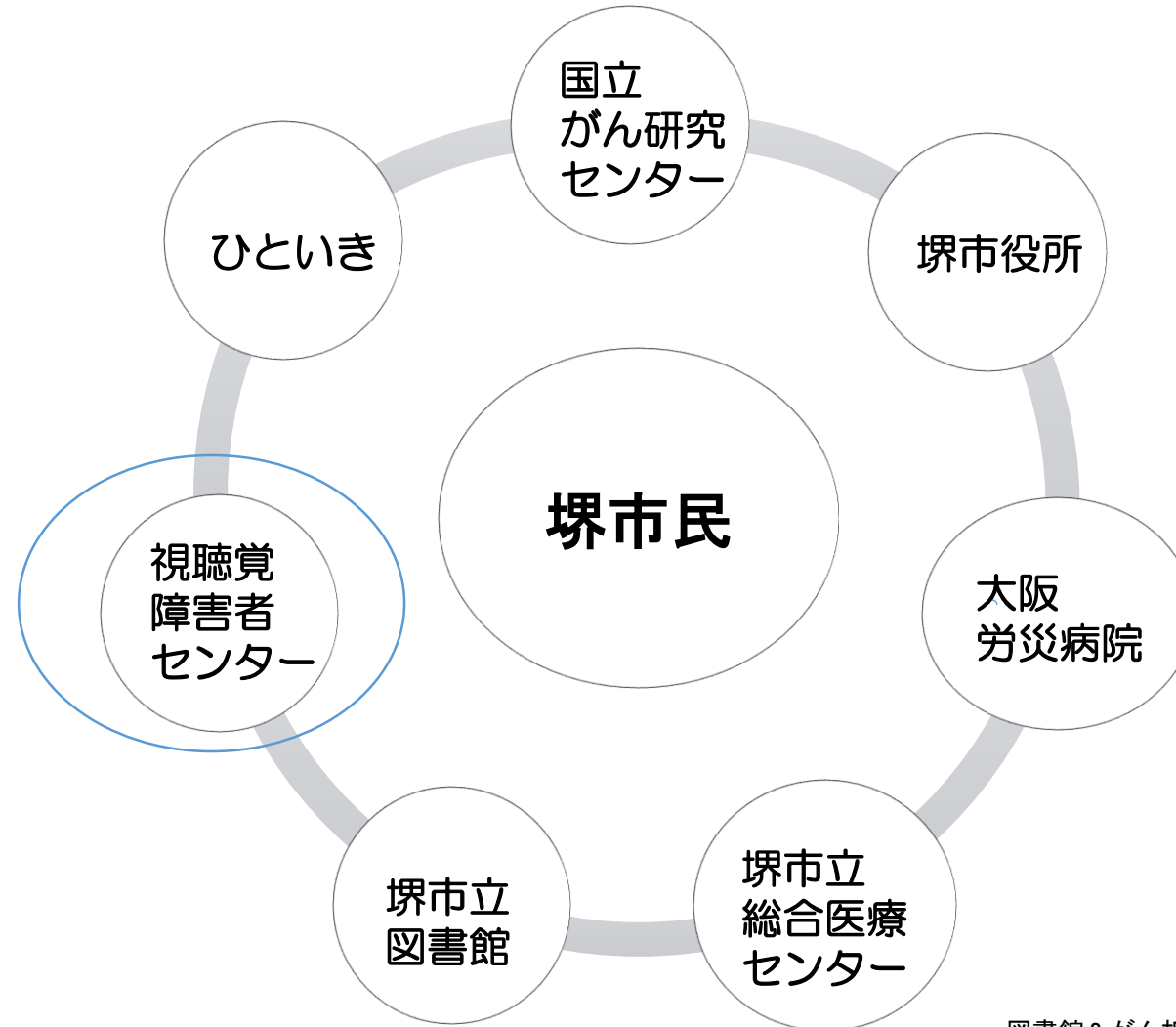


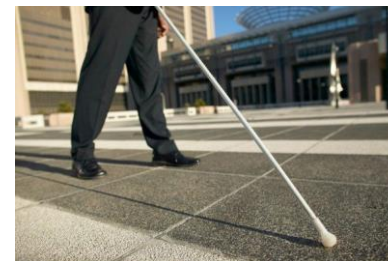
障害のある方にも命に関わる
情報を等しく届けられる
社会に向けて

堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター
原田 敦史

がん情報普及のための 医療・福祉・図書館の連携プロジェクト



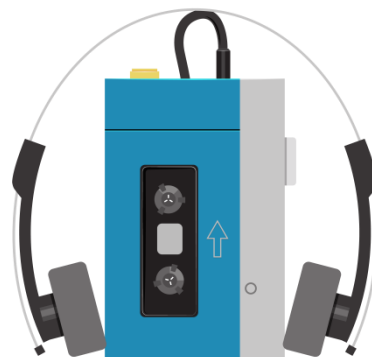
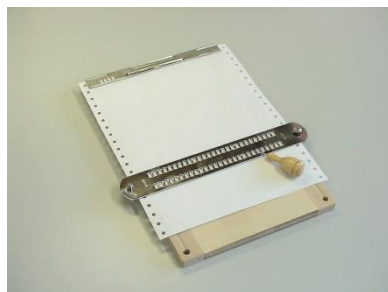
最初の取り組み姿勢



- 考えていたこと(目的)は・・・
関係者にも視覚障害についてしってもらう
医療情報提供の仕組みを考えたい

見えない・見えにくい人が必要な支援を医療の人に伝えたい

適切な形での情報提供、配慮をしてほしい



堺の前館長は視覚障害者でしたが、 がんを発症しました

情報を集めようとしたが・・・

我々は本屋に行けば、いいものかどうかは別として例えば「がん」に関する情報はすぐに目に入ってきます。けれども点字や音声では限られた情報しかありませんでした。とくに一番知りたい最新の情報は、ほぼ自分で確認することができませんでした。



見えない人が 「大きな病」になるということ



見えない状態で、大きな病になった場合
どのように情報を集めることができるでしょうか。

我々の調査によると、点字図書館登録している視覚障害者も登録していない視覚障害者もテレビ・ラジオの利用は一般の人と同様に高い。また「人づて」の情報は、一般の人より特に高いが、点字図書館に登録していない視覚障害者は、「友人・知人」の割合が低いというデータがでました。
一般に比べると書籍、ネット等の媒体は軒並み低く、点字図書館に登録していない視覚障害者は特に低いことが明らかとなっています。

けれども

視覚障害者にはいわゆる電子図書館「サピエ」があります。

どの程度の医療情報があるのか

- 点訳

タイトル数 12969タイトル
例えば冊子の製作期間 3カ月
点図が入ると長くなります。

20ページ カラー



- 音訳

タイトル数 10905タイトル
例えば冊子の製作期間 2カ月

たくさん、そして早く 情報提供できないのは・・・

- 専門書は金額が高くなるため、各図書館で購入してということができにくい。
- 専門書を読むことができるボランティアが多いわけではない。
- 一般的な文学を製作するよりも時間がかかる。専門用語の読み方、図の説明に時間がかかりすぎるため。

結果、完成時にはすでに古い情報となっているかも。

そこで国がんの提携し情報が足りない視覚障害者への情報提供 多媒体でより早い情報提供へ。

がんの冊子等 堺市立健康福祉プラザ 視覚聴覚障害者センターとの共同作業進捗

認識番号	冊子	がん情報サービス		サピエ	
		墨字	録音	点字	録音
101	胃がん	2015年02月 第3版	2012年03月 第2版	2015年 第3版	2012年 第2版
102	食道がん	2018年04月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
103	大腸がん	2018年07月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
104	肝細胞がん	2018年04月 第4版	2012年03月 第2版	2015年 第3版	2015年 第3版 => 第4版あり
105	膵臓がん	2017年07月 第4版	2012年03月 第2版	2017年 第4版	2012年
106	胆のうがん	2015年12月 第3版	2012年03月 第2版	2015年	2012年 第3版
107	GIST(消化管間質腫瘍)	2015年02月 第2版	2012年07月 第1版	2015年 第2版	2015年 第2版
108	胆管がん	2015年05月 第1版		2015年	
111	膵臓腫瘍		2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
112	悪性神経鞘腫		2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
113	喉頭がん	2018年07月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
114	舌がん		2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
115	脳腫瘍	2018年10月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
116	咽頭がん	2012年03月 第2版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
117	甲状腺がん	2018年07月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
118	神経膠腫(グリオーマ)	※でんし冊子	2012年07月 第1版	2012年	2012年
121	中皮腫	2012年03月 第2版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
122	胸腺腫と胸腺がん	2012年03月 第2版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
123	肺がん	2017年10月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版
131	悪性リンパ腫	2017年03月 第3版	2012年03月 第2版	2017年 第3版	2012年
132	多発性骨髄腫	2017年03月 第3版	2012年03月 第2版	2017年 第3版	2012年
133	慢性骨髄性白血病	2017年07月 第3版	2012年03月 第2版	2017年 第3版	2012年 第2版
141	子宮頸がん	2014年04月 第3版	2012年03月 第2版	2014年 第3版	2012年 第3版
142	卵巣がん	2017年10月 第3版	2012年03月 第2版	2012年	2012年 第2版

点字図書館

点字図書館についての情報など

トップ > ご利用方法 > 視覚・聴覚障害者センター > 点字図書館 > 役立つページQ&A

点字図書館トップページ

点字図書館へようこそ

見えない・見えにくい

サービス一覧

点字・録音図書の出貸

対面朗読サービス

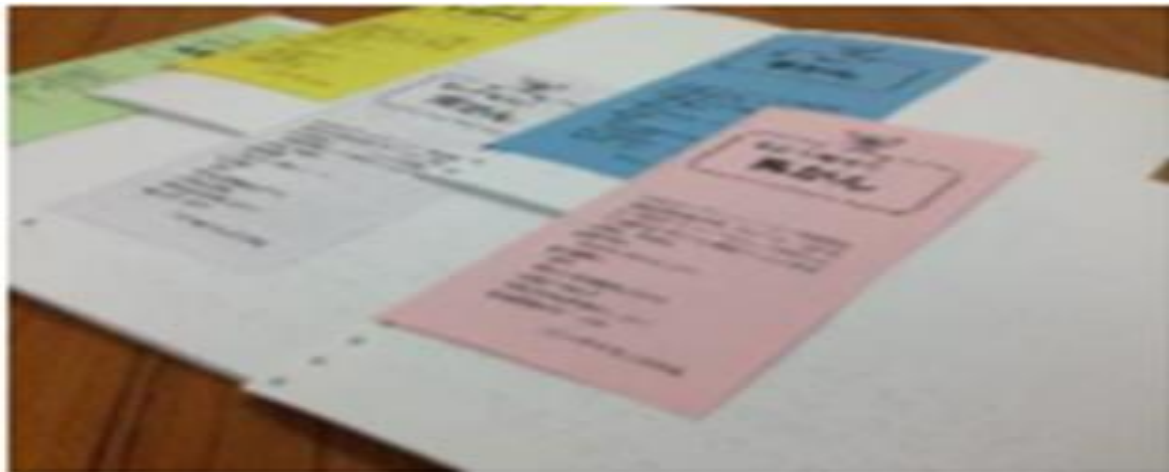
相談事業

役立つページQ&A

各種お知らせ
堺市よりヘルプカードのお知らせ(テキスト)
第13回堺市障害者スポーツ大会のお知らせ(テキスト)
土佐光吉展(テキスト)

各種リーフレット・ちらし
利島の杜リーフレット(テキスト)
難病支援センターリーフレット(テキスト)
災害後の心の回復のために(テキスト)
住宅用火災報知器のちらし(テキスト)

がん関係リーフレット
知れば安心がん情報(テキスト)
正しく知ろう 胃がんリーフレット(テキスト)
正しく知ろう 乳がんリーフレット(テキスト)
正しく知ろう 肺がんリーフレット(テキスト)
正しく知ろう 子宮がんリーフレット(テキスト)
正しく知ろう 大腸がんリーフレット(テキスト)



連携して発行する資料の
即時点訳化・音訳化

ホームページからの情報発信

サピエでは7年間でデイジー約7400件、
点字が約2100件利用された。

事業をやってよかったこと

堺市のがん検診情報の伝え方の工夫と 障害のある方への受診体制が整う

がん検診情報の伝え方

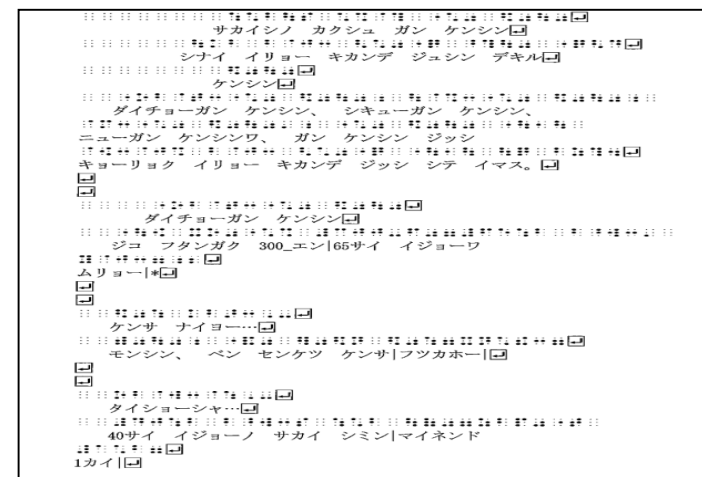
がん検診の制度を、情報弱者の方へ伝える手段として、視覚・聴覚障害者センターの協力いただき、がん検診制度案内の「点訳・音訳」を作成。

啓発を行うツールとして、保健センター等で活用している。

がん検診の受診について

ベルデさかいで、障害のある方が受診できる体制を整備 (※要予約)

点訳の一例

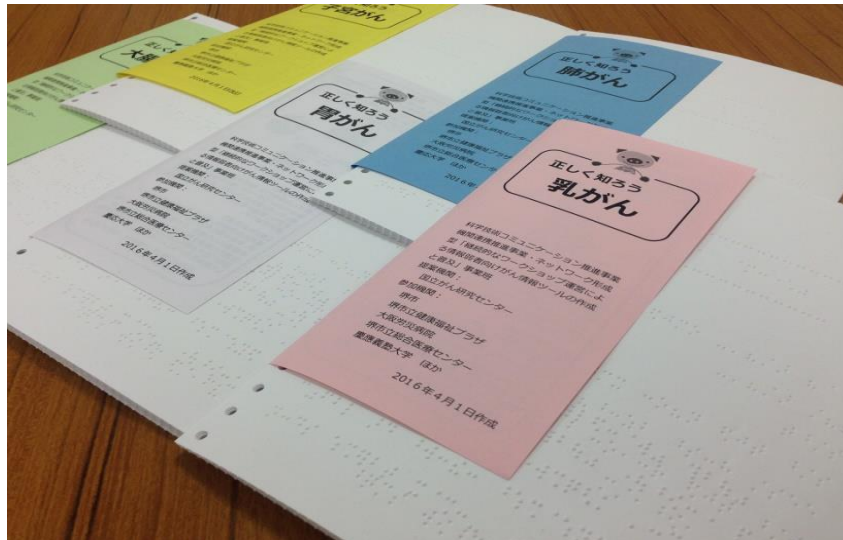


実施機関	受診できるがん検診
堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデさかい	・大腸がん ・子宮がん

- ・その他、各保健センター及び市内の医療機関で実施するがん検診も受診可能です。事前にそれぞれの実施機関へお問い合わせください。
- ・「がん相談支援センター」でも検診の受診に関しての相談が出来ます。

今まで目を向けていなかった資料、

情報提供の形が見えてきた



連携して発行する資料の即時点訳・音訳



今まで行っていなかった、
眼疾患の医療情報提供の実施

自らの気づきにつながる…

- 今まで私たちが発信していた健康情報の媒体などに、配慮が足りなかったことに気づいた。
- 情報弱者に対して作成した媒体は、すべての市民にとって使いやすいものになった。
- 点字図書館として行っている情報提供に偏りがあることに気づいた。
- 連携することで、より信頼性の高い媒体の作成ができた。
- 医療に関する情報を、当事者目線・日常の場所で発信できるようになった。
- 医療・福祉・の強みを生かして、情報発信ができるようになった。
- 気軽に相談して解決できる風土ができた。

新たな課題も

- 作成したものは本当にわかりやすいものか。読む資料と聞く資料で何か違いはないのか。難しい漢字の組み合わせを音だけで想像をすることができるのか。単純に音にする、点字にするという当たり前の先にある「伝える」「伝わる」という視点で考え始めた。

→本当にいいものでもわかりにくいとなってしまうたら、今後活用されなくなってしまう。

- 困ったときに(病気になったときに)資料がありますから、お使いくださいと看板を出していても伝わらない。普段から障害のある人が利用できていて、それでこそ活用をしてもらえとのでは感じている。

→普段から情報を発信し、普段から活用できる体制を

ご清聴ありがとうございました。